「慶應義塾と戦争」アーカイブ・プロジェクト　大阪特別企画展Ⅱ

忘れられた戦争のカケラ

戦争の知られざる側面に
光を当てる資料展示と
研究成果の報告会

〈会期〉 **2019年7月24日（水）～8月13日（火）　10：00～17：30　入場無料**

＊閉室日　7月27日（土）、7月28日（日）、8月3日（土）、8月10日（土）

〈会場・お問合せ先〉

慶應大阪シティキャンパス

大阪市北区大深町3-1　グランフロント大阪　ナレッジキャピタル北館タワーC 10階

TEL　06-6359-5547　URL　http://www.korc.keio.ac.jp/

JR大阪駅、阪急・阪神・地下鉄各梅田駅より徒歩

〈主催〉 慶應義塾福澤研究センター、慶應大阪シティキャンパス

写真：長野県旧有明村・上原家の5人の子供たち。
3人の兄弟（上原良春・龍男・良司）は、
全員慶應義塾出身、全員戦没。（上原幸一氏蔵）

忘れられた戦争のカケラ

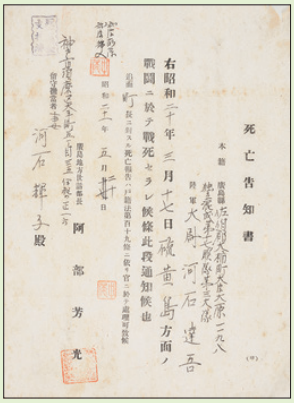
- ✦オリンピックと戦争
- ✦陸軍中野学校
- ✦上原良司とその家族
- ✦旧海軍日吉台地下壕

戦争期の慶應義塾に関する多角的な調査・研究を行う「慶應義塾と戦争」アーカイブ・プロジェクトという取り組みが2013年8月より進行中です。通常あまり光が当たらない戦争の多様な側面にも目を配り、資料収集や聞き取りを重ねて参りました。このたび、プロジェクトが収集した貴重な資料の展示と、その背景を報告する機会を設けることになりました。「戦争体験の継承」という社会的課題を再確認するとともに、大学や学問の役割を改めて考える機会となればと考えています。

写真：慶應義塾出身・陸軍中野学校1期生宮川正之／
1943年頃、ベルリンにて（慶應義塾福澤研究センター蔵）

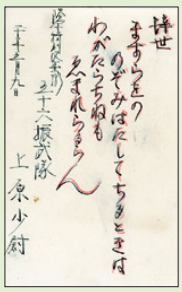
主な展示品

慶應義塾出身オリンピアン関係資料（メダル、アルバム、戦没者関係資料）、慶應義塾出身で戦没した三兄弟 上原良春・龍男・良司の資料、慶應義塾出身の陸軍中野学校出身者の資料（使用辞書、パスポート、撮影映像等）、旧海軍日吉台地下壕関係資料（遺物、内部映像）他　約50点の実物資料や映像、VR



死亡告知書

右昭和二十年三月十七日硫黄島方面ノ戦闘ニ於テ戦死セラレ候條此段通知候也



関連行事〈参加無料・予約不要〉

❶ 展示解説　7月24日（水）、8月4日（日）、8月13日（火）　16：30から45分程度

❷ 研究報告　8月4日（日）　12：00～16：00（各報告1時間程度を予定）

（1）旧海軍日吉台地下壕（連合艦隊司令部）ＶＲ展示と解説
慶應義塾大学文学部教授　安藤広道

（2）長野県安曇野市・上原家資料調査を通してみる上原良司の虚像と実像
日吉台地下壕保存の会副会長　亀岡敦子

（3）陸軍中野学校第一期生調査　──映画『陸軍中野学校』と史実──
慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所　都倉武之研究会

（4）慶應義塾出身オリンピアンの資料調査　──水泳部を中心に──
慶應義塾福澤研究センター調査員　横山寛